

相談支援従事者研修（現任研修）の受講対象期間（期限）の基本的な考え方

相談支援専門員として、継続して従事するためには、
初任者研修Ⅰの修了年度を起点として、翌年度から数えて5年ごとに現任研修を修了する必要があります。



- （参考）現任研修受講に係る実務経験要件
- ① 過去5年間に2年以上の相談支援の実務経験がある。
 - ② 現に相談支援業務に従事している。
- 初回の現任研修受講時には①を、2回目以降の受講時には①又は②を満たす必要があります。

受講対象期間（期限）のイメージ

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	
初任Ⅰ修了		現任研修（初回）受講対象期間					現任研修（2回目）受講対象期間					
						期限 9年度末					期限 14年度末	
☑ 例1						現任修了						
☑ 例2					現任修了							

この期間に、現任研修の修了が必要です

起点（初任者研修Ⅰ修了年度）が同じであるため、
「例1」「例2」どちらの場合でも、
現任研修（2回目）の受講対象期間（期限）は同じとなります。
余裕を持った受講をご検討ください。

相談支援従事者研修（現任研修）受講期限セルフチェック表

【記入方法】

- ご自身の「初任者研修Ⅰ」の「修了証書」に記載されている「修了年度（注）」を確認し、「初任Ⅰ修了」の年度欄に記入してください。
- 続けて、初任者研修Ⅰの修了年度の翌年度から順番に、年度を記入してください。
- 現任研修を修了した年度に○をつけ、ご自身の現任研修受講期限の確認に使用してください。

（注）

・記入するのは、修了「年度」です（「年」ではありません。）

（例）

【修了年月日】

令和5年2月16日

⇒

【修了年度】

令和4年度 ※令和5年度ではありません

- 平成17年度までに国又は都道府県が実施した「障害者ケアマネジメント従事者養成研修」を修了し、平成18年度以降に「現任者研修Ⅰ又はⅡ」を修了した方は、初めて受講した「現任者研修Ⅰ又はⅡ」の「修了証書」に記載されている「修了年度」を記入してください。

初任Ⅰ修了	現任研修（初回）受講対象期間					期限	現任研修（2回目）受講対象期間					期限
年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
起点	この期間に、現任研修の修了が必要です						この期間に、現任又は主任研修の修了が必要です					

現任研修（3回目）受講対象期間					期限	現任研修（4回目）受講対象期間					期限
年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度
この期間に、現任又は主任研修の修了が必要です						この期間に、現任又は主任研修の修了が必要です					

以降、繰り返し

留意
事項

- 相談支援専門員として従事するためには、受講対象期間ごとに現任研修（又は主任研修）を修了する必要があります。
- 主任研修を修了した場合、現任研修を修了したものとみなされます。
- 受講期限までに現任研修（又は主任研修）を修了できなかった場合、相談支援専門員として従事するには、改めて初任者研修Ⅰを修了する必要があります。この場合、起点は再受講した初任者研修Ⅰの受講年度となります。

記入例

初任Ⅰ修了	現任研修（初回）受講対象期間					期限	現任研修（2回目）受講対象期間					期限
H28	29	30	R1	2	3		4	5	6	7	8	
年度	年度	年度	年度	年度	年度		年度	年度	年度	年度	年度	年度
起点	この期間に、現任研修の修了が必要です						この期間に、現任又は主任研修の修了が必要です					

初任者研修Ⅰ
修了

現任研修
修了

主任研修
修了

次回受講期限は、令和8年度末になります。
(次回受講対象期間：令和4年度～令和8年度)

⇒次回受講期限は、令和13年度末になります。
(次回受講対象期間：令和9年度～令和13年度)

※主任研修を修了した場合、現任研修を修了したものとみなされます。